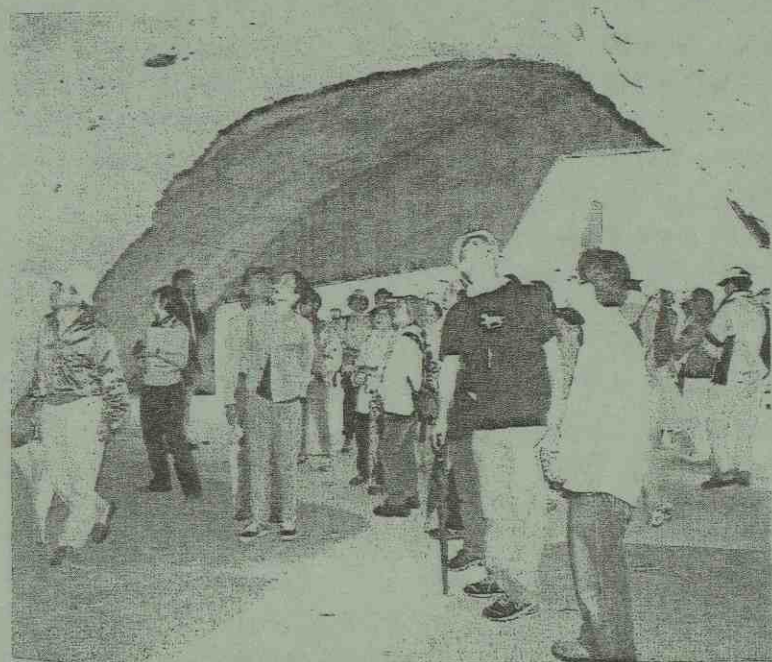


第1回・宇佐航空隊平和ウォーク

2005年5月22日、戦後60年の節目を記念して、市内の戦争遺構を歩きながら学ぶ「宇佐航空隊平和ウォーク」が開催され、約300人の人々が参加しました。戦争の悲惨さと平和の大切さをあらためて知る一日となりました。(豊の国宇佐市塾主催/宇佐市、宇佐市教育委員会共催)



「第1回宇佐航空隊平和ウォークで、城井1号掩体壕を見学する参加者たち」

軍艦模型の作者・伊藤金二郎氏プロフィール

明治18年11月23日神戸市生まれ。軍艦が港に入っているのを見て育ち、海軍にあこがれ学生時代から模型作りをはじめた。大型艦の制作は半年間を要していた。三笠を三笠宮様に献上。ヒットラー、ムッソリーニにも献上した。大半を大阪海軍会館に展示していたが、終戦の混乱で大半を失った。昭和17年3月1日死亡。57歳。

「宇佐航空隊の世界」展 ～戦後60年、平和へのメッセージ～

ごあいさつ

昭和20年の終戦から、今年でちょうど60年。国内はもちろん、世界各地で戦争と平和をテーマとした特集や行事が計画されています。

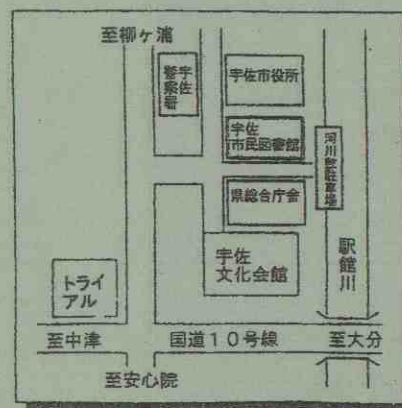
わたしたちのふるさと宇佐には、戦時中、海軍の基地があったことから、154名もの特攻隊員が出撃したり、空襲で住民が犠牲になるなど、多くの悲惨な戦争の傷跡が残っています。

今回の展示では、6月3日、宇佐市に寄贈された深川善次氏(元佐賀大学教授)の絵画「若桜時代に生きて」の初公開をはじめ、5月に実施された「第1回・宇佐航空隊平和ウォーク」のようすや、故・伊藤金二郎氏手作りの軍艦模型など、新収資料や最近の出来事をまじえ、市内に残る戦争遺物の数々を紹介します。

戦争を知り、平和について考えるきっかけになれば幸いです。

なお、この展示には、豊の国宇佐市塾と大森昭二氏の協力を得ました。御礼申し上げます。

2005(平成17)年7月9日



宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー

平成17(2005)年7月9日 / 発行・宇佐市民図書館
大分県宇佐市上田1017-1 TEL.0978-33-4600

「宇佐航空隊の世界」展

～戦後60年、平和へのメッセージ～



●今回初公開される深川善次氏作の油絵「若桜時代に生きて」

2005.7.9 ~ 8.7

10:00 ~ 18:00 (日曜のみ ~ 17:00)
休館日…毎週月曜日・祝祭日・月末木曜日

宇佐市民図書館
渡網記念ギャラリー



深川善次氏ご夫妻

絵画贈呈式の折、時枝正昭宇佐市長(右)と 2005.6.3

「若桜 時代に生きて」の作者・深川善次氏プロフィール

1924(大正13)年、佐賀県川副町に生まれる。東京高等師範学校(現・筑波大学)卒業後、小中高校教諭をへて、佐賀大学教育学部教授。退官して現在に至る。日本美術展覧会(日展)に27回入選。平成2年、紺綬褒章受章。平成7年、佐賀県芸術文化賞受賞。昨年まで、佐賀県立美術館・博物館協議会委員長をつとめた。川副町在住。



絵画のモデルとなった特攻隊員・堀之内久俊少尉の写真
(21歳で宇佐航空隊から特攻出撃し、戦死)

展示目録

●絵画・書など(13点)

- 1.「若桜 時代に生きて」 深川善次 油絵 120×90(タテ)
- 2.「五分咲きの花を籠(えびら)に君征さし」 渡辺くみ女
- 3.藤井真治大尉の和歌をあしらった扇
(「大皇の醜の御循と云ふものはかるものぞとすゝめ真前に」)
- 4.藤井真治大尉の書「誠ノ道」 色紙帖4冊より
- 5.海軍士官などの墨書(別府市・高岸克郎氏寄贈) 6軸

●戦争遺物(66点)

- 6.宇佐航空隊の指揮所で使用されていたと思われる椅子(大森昭二氏所有)
- 7.銃弾が刺さったままの宇佐航空隊で使用されていた黒板(大森昭二氏所有)
- 8.城井1号掩体壕出土遺物(零戦用20ミリ機関砲ほか12点)
- 9.畑田地区の畑から出土した遺物(航空隊使用食器の破片など9点)
- 10.高森城跡出土遺物(信号拳銃など9点)
- 11.軍隊手帳ほか(17点)
- 12.零戦のエンジン取り付け金具
- 13.航空隊が使用した模擬弾(中村龍子氏寄贈)
- 14.魚雷運搬車の車輪
- 15.格納庫の骨材
- 16.九二式7.7ミリ機関銃用弾薬箱と蓋(2点)
- 17.航空隊の下士官が使用していた文箱
- 18.爆発防止決死作業の跡記念柱
- 19.城井1号掩体壕に展示している零戦エンジンの一部
(集合排気管、鎧装線及高圧電線、エンジンカバーなど9点)

●軍艦模型(2点) ※いずれも明治期の軍艦

- 20.一等(装甲)巡洋艦「出雲」(伊藤金二郎氏制作)
- 21.三等駆逐艦「薄雲」(伊藤金二郎氏制作)

●写真(30点)

- 22.深川善次氏ご夫妻(時枝正昭宇佐市長と絵画贈呈式の折)
- 23.深川善次氏画「月光の曲秘話」複製写真
- 24.深川氏の絵のモデルとなった堀之内久俊少尉遺影
- 25.藤井真治大尉肖像 2枚
- 26.若麻統隆少尉肖像
- 27.昭和23年、米軍撮影による宇佐航空隊
- 28.昭和19年7月、夏装の衛兵が立つ航空隊の正門
- 29.航空隊エプロンの九七式艦上攻撃機の裂線
- 30.宇佐空格納庫前の九七式艦攻11型
- 31.第1回・宇佐航空隊平和ウォーク[2005.5.22]のようす(9枚)
(スタート地点の看板/コース説明/柳ヶ浦高校前、慰霊碑へ/特攻出撃の人の氏名を見る/正門前、実物大の模型/下城井の方々にお茶をいただく/城井1号掩体壕/麦秋の航空隊跡/航空隊外の分水路)

- 32.是恒義人氏画「畑田空襲の記憶」(複製)
- 33.九七式艦上攻撃機
- 34.エンジン調整室
- 35.豊前海にある標的
- 36.爆弾池
- 37.宇佐市指定史跡に指定される前の城井1号掩体壕
- 38.海軍棧橋
- 39.落下傘整備所
- 40.滑走路跡
- 41.鷹居神社下の防空壕
- 42.現在の城井1号掩体壕

●関連書(28点)

- 43.『畑田空襲の記録』是恒義人(宇佐:是恒義人・1975)
- 44.『友魂 49の出会い』宇佐要務会(長崎:宇佐要務会・1989)
- 45.『宇佐海軍航空隊(教官・教員・OBの戦い)』酒井俊明(神戸:酒井俊明・2002)
- 46.『指揮官たちの特攻—幸福は花びらのごとく—』城山三郎(新潮社・2001)
- 47.『指揮官たちの特攻—幸福は花びらのごとく—』城山三郎(新潮文庫版・2001)
- 48.『平和証言集—柳ヶ浦空襲の体験者による—』
(2000年度宇佐市立柳ヶ浦小学校6年生・2001)
- 49.『カミカゼの真実—特攻隊はテロではない。—』須崎勝彌(光人社・2004)
- 50.『雲の墓標』阿川弘之(新潮文庫版・1956)
- 51.『開聞岳を後にして—特攻戦没学徒への追悼—』堀之内三夫(塔南舎・1993)
- 52.『戦争遺跡から学ぶ』戦争遺跡保存全国ネットワーク編(岩波書店・2003)
- 53.『蒼天の悲曲—学徒出陣—』須崎勝彌(光人社・2000)
- 54.『新 蒼空の器—大空のサムライ七人の生涯—』豊田稷(光人社・1980)
- 55.『はちまん』(上・下)内田康夫(角川書店・1999) 2点
- 56.『しらべる戦争遺跡の事典』十菱駿武ほか編(柏書房・2002)
- 57.『保存版ガイド 日本の戦争遺跡』
戦争遺跡保存全国ネットワーク編(平凡社・2004)
- 58.『宇佐航空隊の世界(Ⅰ～Ⅳ)』(豊の国宇佐市塾・1991～1998)4点
- 59.『ゼロ戦と隼』野沢正(秋田書店・1972)
- 60.『神風特攻隊』安延多計夫(秋田書店・1972)
- 61.『戦争遺跡は語る』戦争遺跡保存全国ネットワーク(かもがわ出版)
- 62.『えん体ごうのこのるまち』小学校低学年用(宇佐:平和読本編集委員会・1996)
- 63.『えん体ごうの残るまち』小学校高学年用(宇佐:平和読本編集委員会・1996)
- 64.『掩体壕の残るまち』中学校用(宇佐:平和読本編集委員会・1996)
- 65.『宇佐海軍航空隊始末記』今戸公徳(光人社・2005)
- 66.『柳ヶ浦町史付録』中野幡能(柳ヶ浦町史刊行会・1970)
※今戸公徳「僕の町も戦場だった(正・続)」収録

●地図・年表など(5点)

- 67.宇佐航空隊に関する主な歴史(年表)
- 68.宇佐海軍航空基地(1万分の1地図)
- 69.「海軍航空隊戦闘詳報」のコピー(堀之内少尉の項)
- 70.軍艦模型制作者・伊藤金二郎氏を紹介する新聞記事
- 71.第1回・宇佐航空隊平和ウォーク地図

【合計144点】